

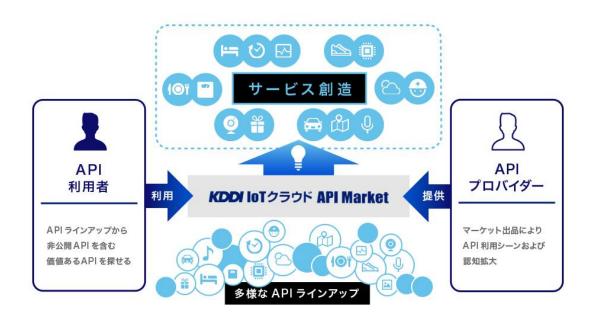
2018 年 01 月 29 日 Jetrun テクノロジ株式会社

Jetrun テクノロジ、「KDDI IoT クラウド API Market」へ 自然言語処理 API の提供を開始 〜新たな IoT サービスの創出へ向け連携〜

Jetrun テクノロジ株式会社(本社:東京都港区 代表取締役:野武 浩、以下 Jetrun テクノロジ)は、KDDI 株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:田中 孝司)が提供する API マーケットプレイス「KDDI IoT クラウド API Market」へ、ヒトとロボットが交わす話題を約 1900 以上に分類する API と日常生活の調和を約 26 のパターンで判定する API 提供を開始します。

Jetrun テクノロジが提供する自然言語処理 API「TrueText(トゥルーテキスト)」は長期の商用品質を維持、向上させております。ロボットの音声対話で活用される意味解析からビックデータの解析まで様々な用途で使用する事が出来る API です。

このたびの連携によって、複数の業種業態へ向けた IoT を活用する企業へ向け、新たなサービスの創出や開発者の支援に取り組んで参ります。



◆KDDI IoT クラウド API Market

「KDDI IoT クラウド API Market」は、自社のデータやサービスを API を通して提供する企業と、さまざまな API を利用して新しいサービスを開発したい企業をつなげる API マーケットプレイスです。

これまで新しいサービスを開発する際は自社開発、もしくは個別に外部の API を探して契約する必要がありましたが、「KDDI IoT クラウド API Market」を利用することにより、多様な API ラインアップの中から選択してサービス 開発が可能となります。

◆拡張型自然言語処理技術「TrueText(トゥルーテキスト)」

機械学習や AI(人工知能)システムとも連携し、広範囲に単語の正表記や言葉ゆれを集約できる API として、多くの企業にご導入頂いている。

※TrueText(トゥルーテキスト)の詳細は、https://www.textmining.jp/をご覧ください。

◆自然対話 AI プラットフォーム

Jetrun テクノロジが企業向けに提供している自然対話 AI プラットフォームは下記 3 種類

TypeA:コミュニケーションフレームワーク

TypeB:対話型知識解析検索、自然言語 SQL

TypeC:IoT/スマートスピーカー基盤

カスタマイズ可能な自然言語による機器連動を可能とし、当社が培ってきた1万以上の行動解析技術と1億以上 のカテゴライズされた辞書を用いて、これまでにない革命的なユーザー体験を実現いたします。

【KDDI 株式会社 会社概要】

会社名 KDDI 株式会社

URL http://www.kddi.com

所在地 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3丁目 10-10 (ガーデンエアタワー)

代表者 代表取締役社長

田中 孝司 (たなか たかし)

資本金 141,852,000,000 円

【Jetrun テクノロジ株式会社 会社概要】

会社名 Jetrun テクノロジ株式会社

URL https://www.jetrun.co.jp/

所在地 〒106-0045 東京都港区麻布十番 3 丁目 6-2 NS 麻布十番ビル 9 階

代表者 代表取締役社長 兼 CEO

野武 浩(のたけ ひろし) http://jetrunnotake.com/

資本金 94,000,000 円

【本プレスに関するお問い合わせ先】

Jetrun テクノロジ株式会社

担当:宮地

TEL:03-6436-4275

Email: tecinfo@jetrun.co.jp

【主な取引先 <順不同、敬称略>】

- ◇株式会社 NTT ドコモ
- ◇シャープ株式会社
- ◇オムロンソフトウェア株式会社
- ◇株式会社ゼンリンデータコム
- ◇株式会社本田技術研究所
- ◇株式会社フュートレック

- ◇テックファーム株式会社
- ◇株式会社ムラウチドットコム(にほんブログ村)
- ◇伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
- ◇パーソルキャリア株式会社
- ◇株式会社ベネッセコーポレーション(ウィメンズパーク)
- ◇コニカミノルタ株式会社 他

【事業内容】

- ◇自然対話 AI プラットフォーム
- ◇自然言語処理 / テキストマイニング
- ◇IoT /ヒューマノイド ロボティクス
- ◇有害情報検知・隠語分析

最新のプロダクト&サービスはこちらから>>https://www.jetrun.co.jp/product.html